



2026年2月13日

各 位

会社名 大豊建設株式会社  
代表者名 代表取締役社長 森下覚恵  
(コード番号 1822 東証スタンダード)  
問合せ先 執行役員管理本部副本部長兼経理部長  
梅原 良典  
(TEL. 03-3297-7406)

## 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2025年5月9日に公表いたしました2026年3月期通期業績予想及び配当予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 業績予想の修正

2026年3月期通期連結業績予想数値の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 140,000	百万円 5,200	百万円 6,400	百万円 4,000	円 錢 45.37
今回修正予想 (B)	138,600	6,300	6,300	4,200	47.57
増減額 (B-A)	△1,400	1,100	△100	200	
増減率 (%)	△1.0	21.2	△1.6	5.0	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	143,394	5,533	5,204	3,691	41.91

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が実施されたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

2026年3月期通期個別業績予想数値の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 100,000	百万円 3,300	百万円 5,400	百万円 3,800	円 錢 43.10
今回修正予想 (B)	101,700	4,200	5,000	3,900	44.17
増減額 (B-A)	1,700	900	△400	100	
増減率 (%)	1.7	27.3	△7.4	2.6	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	99,030	2,895	3,287	2,940	33.38

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しております。前事業年度の期首に当該株式分割が実施されたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

## 2. 修正の理由

### (1) 個別修正の理由

売上高につきましては、土木工事の進捗率改善に伴い前回予想を 17 億円上回る見込みです。利益面につきましては、土木工事の進捗率改善による完工工事高の増加に加え、土木工事及び建築工事において採算の良化が見込まれることから、営業利益は前回予想を 9 億円上回る見込みです。また、当期に見込んでおりました投資事業からの配当金 14 億円が来期となったことから、経常利益は前回予想を 4 億円下回る見込みですが、不動産売却等に伴う特別利益の計上により、当期純利益は前回予想を 1 億円上回る見込みです。

### (2) 連結修正の理由

上記個別業績予想の修正に加え、一部の子会社において採算が良化したことに伴い連結業績予想の修正をするものです。

## 3. 配当予想の修正について

### (1) 修正の内容

	年間配当金	
	期末	合計
前回発表予想 (2025 年 5 月 9 日)	円 錢 32.00	円 錢 32.00
今回修正予想	34.00	34.00
(ご参考) 前期実績 (2025 年 3 月期)	147.00	147.00

(注) 当社は、2025 年 4 月 1 日付で普通株式 1 株につき 5 株の割合で株式分割を実施しております。2025 年 3 月期の 1 株当たり期末配当金につきましては、当該株式分割前の金額を記載しております。株式分割考慮後の 2025 年 3 月期の 1 株当たり期末配当金は 29 円 40 銭となります。

### (2) 修正の理由

当社は、2025 年 5 月 9 日に発表いたしました中期経営計画 2023-27 年度【アジャスト版】において、「継続的な配当の実現可能性と資金需要を勘案し、2024~27 年度の 4 年間の連結配当性向を 70% 以上へ引き上げる」としており、今般、通期業績予想の修正に伴い、期末配当予想を前回予想から 2 円増配の 1 株当たり 34 円に修正いたします。

当社は、中期経営計画を推進するとともに、株主還元に努めてまいります。株主の皆様におかれましては、何卒ご理解の上、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

※上記の予想数値は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上